

古文書を読む会学習記録

作成日 平成29年 6月9日

開催日	平成29年 6月8日	時 間	10:00~12:00
場 所	金沢公会堂リハーサル室	出席人数	14名
講 師	真田雅行氏	作成者	松本和俊
テーマ	第一学習 富岡村 大胡家文書 ③		
概 要	<p>高野山の堂宇焼失についての復興資金勸化に関する文書を読む。</p> <p>○嘉永元申年(1848) 5月 25日付けの寺社奉行久世出雲守様からの御達し書 大塔のほか金堂なども焼失し自力では再建困難につき、幕府へ援助を再三申し出ている。大塔については幕府による普請になると思われるが、幕府も出費多端の折から直ちに実施するのは難しい。</p> <p>従って、当申年から戌年までの3カ年、諸国の信者から寄進を集めることを許可する。また、寄進の品もあると思うので、それを取り纏めて戌年中に申し出ること。</p> <p style="text-align: center;">5月</p> <p>○天保 14 卯年(1843)高野山伽藍のうち、根本大塔、金堂など 14カ所が炎上。宗門の悲嘆はこの上なく大きい。中でも大塔は昔より時の天皇、武将が連綿として造営してきたものである。</p> <p>幕府で再建されるようお願い出ているが、時節柄出費が多く、去る午年にお手当として銀3千枚を下された。また、信者から寄進を募る許可を受けた。御料、私領、諸宗寺院、新義真言宗の分は幕府で取り纏める。</p> <p>古義真言宗では祖師(弘法大師)のご恩に報いるためにも趣旨を理解し、本寺または信者の団体へ寄進し、江戸の在番所に届けること。</p> <p style="text-align: center;">申6月</p> <p>○古義真言宗を除き、幕府より寄進の指示が出された。各院もその趣旨を十分理解してもらいたい。近々、高野山の惣代として遍照寿院がおいでになり龍源(華)寺の本寺、末寺への寄進の割付け依頼があるので、各寺院は中惣代二人が印鑑持参のうえ、来る 29 日四つ時までには不参加者なきよう参集願いたい。</p> <p style="text-align: center;">嘉永 2 年酉 2 月 22 日 洲崎村 龍花(華)寺 慶珊寺など富岡村、寺前村などの古義真言宗 25 寺 (現在、廃寺となっている寺もある)</p>		
次回予定	平成29年 6月22日 10:00~12:00 於: 区役所区民活動センター 第二学習 和宮様御下向 ⑥		